



巻一

風と志のなれぬのく
あつらぬえさそらさ

^{早約} 柳先のゆるりやくとく皇に候

なつらんかなり梅とてさき

しとこのゆりふしなかり

Einige dieser Zahlen sind

aus dem Jahre 1842

aus dem Jahre 1843

aus dem Jahre 1844

aus dem Jahre 1845

aus dem Jahre 1846

aus dem Jahre 1847

aus dem Jahre 1848

aus dem Jahre 1849

aus dem Jahre 1850

aus dem Jahre 1851

aus dem Jahre 1852

のたよとていふは海とんのかしら
 そよぎの身いんかきれ兼にこよ
 ひびくさるる雪の門のまをよ
 一かなんそよのあま心と清しん
 ねらあのみさのきさあしあ
 ほうししじきよさきし
 きち生るいふにまきくむあ
 らあかなるふ見も年あま
 かなたのたくとねひのいあ
 あい業よくまとのへか心とた
 約味は久しきくいん
 なるむ人よああいあ
 三

わが心はなほわが心はなほわが心はなほ

わが心はなほわが心はなほわが心はなほ

わが心はなほわが心はなほわが心はなほ

わが心はなほわが心はなほわが心はなほ

わが心はなほわが心はなほわが心はなほ

わが心はなほわが心はなほわが心はなほ

わが心はなほわが心はなほわが心はなほ

わが心はなほわが心はなほわが心はなほ

わが心はなほわが心はなほわが心はなほ

わが心はなほわが心はなほわが心はなほ

わが心はなほわが心はなほわが心はなほ

わが心はなほわが心はなほわが心はなほ

と下さるゝかゝる人々を御座らるゝと

名付そめいづゝと申すはくつゝと

^{三十四}と申すはくつゝと申すはくつゝと

おろすはくつゝと申すはくつゝと

と申すはくつゝと申すはくつゝと

のつゝと申すはくつゝと申すはくつゝと

ひくつゝと申すはくつゝと申すはくつゝと

と申すはくつゝと申すはくつゝと

はくつゝと申すはくつゝと申すはくつゝと

と申すはくつゝと申すはくつゝと

^{三十五}と申すはくつゝと申すはくつゝと

のじらゝと申すはくつゝと申すはくつゝと

ちいさなあめ ¹² わるく ¹⁵ なる ¹⁸
 おもひの ¹¹ 糸 ¹⁴ の ¹⁷ 水 ²⁰ の ²³ 糸 ²⁶
 も ²⁹ なる ³² ま ³⁵ は ³⁸ り ⁴¹ の ⁴⁴ 糸 ⁴⁷
 なる ⁵⁰ ま ⁵³ は ⁵⁶ り ⁵⁹ の ⁶² 糸 ⁶⁵
 なる ⁶⁸ ま ⁷¹ は ⁷⁴ り ⁷⁷ の ⁸⁰ 糸 ⁸³
 なる ⁸⁶ ま ⁸⁹ は ⁹² り ⁹⁵ の ⁹⁸ 糸 ¹⁰¹
 なる ¹⁰⁴ ま ¹⁰⁷ は ¹¹⁰ り ¹¹³ の ¹¹⁶ 糸 ¹¹⁹
 なる ¹²² ま ¹²⁵ は ¹²⁸ り ¹³¹ の ¹³⁴ 糸 ¹³⁷
 なる ¹⁴⁰ ま ¹⁴³ は ¹⁴⁶ り ¹⁴⁹ の ¹⁵² 糸 ¹⁵⁵
 なる ¹⁵⁸ ま ¹⁶¹ は ¹⁶⁴ り ¹⁶⁷ の ¹⁷⁰ 糸 ¹⁷³
 なる ¹⁷⁶ ま ¹⁷⁹ は ¹⁸² り ¹⁸⁵ の ¹⁸⁸ 糸 ¹⁹¹
 なる ¹⁹⁴ ま ¹⁹⁷ は ²⁰⁰ り ²⁰³ の ²⁰⁶ 糸 ²⁰⁹
 なる ²¹² ま ²¹⁵ は ²¹⁸ り ²²¹ の ²²⁴ 糸 ²²⁷
 なる ²³⁰ ま ²³³ は ²³⁶ り ²³⁹ の ²⁴² 糸 ²⁴⁵
 なる ²⁴⁸ ま ²⁵¹ は ²⁵⁴ り ²⁵⁷ の ²⁶⁰ 糸 ²⁶³
 なる ²⁶⁶ ま ²⁶⁹ は ²⁷² り ²⁷⁵ の ²⁷⁸ 糸 ²⁸¹
 なる ²⁸⁴ ま ²⁸⁷ は ²⁹⁰ り ²⁹³ の ²⁹⁶ 糸 ²⁹⁹
 なる ³⁰² ま ³⁰⁵ は ³⁰⁸ り ³¹¹ の ³¹⁴ 糸 ³¹⁷
 なる ³²⁰ ま ³²³ は ³²⁶ り ³²⁹ の ³³² 糸 ³³⁵
 なる ³³⁸ ま ³⁴¹ は ³⁴⁴ り ³⁴⁷ の ³⁵⁰ 糸 ³⁵³
 なる ³⁵⁶ ま ³⁵⁹ は ³⁶² り ³⁶⁵ の ³⁶⁸ 糸 ³⁷¹
 なる ³⁷⁴ ま ³⁷⁷ は ³⁸⁰ り ³⁸³ の ³⁸⁶ 糸 ³⁸⁹
 なる ³⁹² ま ³⁹⁵ は ³⁹⁸ り ⁴⁰¹ の ⁴⁰⁴ 糸 ⁴⁰⁷
 なる ⁴¹⁰ ま ⁴¹³ は ⁴¹⁶ り ⁴¹⁹ の ⁴²² 糸 ⁴²⁵
 なる ⁴²⁸ ま ⁴³¹ は ⁴³⁴ り ⁴³⁷ の ⁴⁴⁰ 糸 ⁴⁴³
 なる ⁴⁴⁶ ま ⁴⁴⁹ は ⁴⁵² り ⁴⁵⁵ の ⁴⁵⁸ 糸 ⁴⁶¹
 なる ⁴⁶⁴ ま ⁴⁶⁷ は ⁴⁷⁰ り ⁴⁷³ の ⁴⁷⁶ 糸 ⁴⁷⁹
 なる ⁴⁸² ま ⁴⁸⁵ は ⁴⁸⁸ り ⁴⁹¹ の ⁴⁹⁴ 糸 ⁴⁹⁷
 なる ⁵⁰⁰ ま ⁵⁰³ は ⁵⁰⁶ り ⁵⁰⁹ の ⁵¹² 糸 ⁵¹⁵
 なる ⁵¹⁸ ま ⁵²¹ は ⁵²⁴ り ⁵²⁷ の ⁵³⁰ 糸 ⁵³³
 なる ⁵³⁶ ま ⁵³⁹ は ⁵⁴² り ⁵⁴⁵ の ⁵⁴⁸ 糸 ⁵⁵¹
 なる ⁵⁵⁴ ま ⁵⁵⁷ は ⁵⁶⁰ り ⁵⁶³ の ⁵⁶⁶ 糸 ⁵⁶⁹
 なる ⁵⁷² ま ⁵⁷⁵ は ⁵⁷⁸ り ⁵⁸¹ の ⁵⁸⁴ 糸 ⁵⁸⁷
 なる ⁵⁹⁰ ま ⁵⁹³ は ⁵⁹⁶ り ⁵⁹⁹ の ⁶⁰² 糸 ⁶⁰⁵
 なる ⁶⁰⁸ ま ⁶¹¹ は ⁶¹⁴ り ⁶¹⁷ の ⁶²⁰ 糸 ⁶²³
 なる ⁶²⁶ ま ⁶²⁹ は ⁶³² り ⁶³⁵ の ⁶³⁸ 糸 ⁶⁴¹
 なる ⁶⁴⁴ ま ⁶⁴⁷ は ⁶⁵⁰ り ⁶⁵³ の ⁶⁵⁶ 糸 ⁶⁵⁹
 なる ⁶⁶² ま ⁶⁶⁵ は ⁶⁶⁸ り ⁶⁷¹ の ⁶⁷⁴ 糸 ⁶⁷⁷
 なる ⁶⁸⁰ ま ⁶⁸³ は ⁶⁸⁶ り ⁶⁸⁹ の ⁶⁹² 糸 ⁶⁹⁵
 なる ⁶⁹⁸ ま ⁷⁰¹ は ⁷⁰⁴ り ⁷⁰⁷ の ⁷¹⁰ 糸 ⁷¹³
 なる ⁷¹⁶ ま ⁷¹⁹ は ⁷²² り ⁷²⁵ の ⁷²⁸ 糸 ⁷³¹
 なる ⁷³⁴ ま ⁷³⁷ は ⁷⁴⁰ り ⁷⁴³ の ⁷⁴⁶ 糸 ⁷⁴⁹
 なる ⁷⁵² ま ⁷⁵⁵ は ⁷⁵⁸ り ⁷⁶¹ の ⁷⁶⁴ 糸 ⁷⁶⁷
 なる ⁷⁷⁰ ま ⁷⁷³ は ⁷⁷⁶ り ⁷⁷⁹ の ⁷⁸² 糸 ⁷⁸⁵
 なる ⁷⁸⁸ ま ⁷⁹¹ は ⁷⁹⁴ り ⁷⁹⁷ の ⁸⁰⁰ 糸 ⁸⁰³
 なる ⁸⁰⁶ ま ⁸⁰⁹ は ⁸¹² り ⁸¹⁵ の ⁸¹⁸ 糸 ⁸²¹
 なる ⁸²⁴ ま ⁸²⁷ は ⁸³⁰ り ⁸³³ の ⁸³⁶ 糸 ⁸³⁹
 なる ⁸⁴² ま ⁸⁴⁵ は ⁸⁴⁸ り ⁸⁵¹ の ⁸⁵⁴ 糸 ⁸⁵⁷
 なる ⁸⁶⁰ ま ⁸⁶³ は ⁸⁶⁶ り ⁸⁶⁹ の ⁸⁷² 糸 ⁸⁷⁵
 なる ⁸⁷⁸ ま ⁸⁸¹ は ⁸⁸⁴ り ⁸⁸⁷ の ⁸⁹⁰ 糸 ⁸⁹³
 なる ⁸⁹⁶ ま ⁸⁹⁹ は ⁹⁰² り ⁹⁰⁵ の ⁹⁰⁸ 糸 ⁹¹¹
 なる ⁹¹⁴ ま ⁹¹⁷ は ⁹²⁰ り ⁹²³ の ⁹²⁶ 糸 ⁹²⁹
 なる ⁹³² ま ⁹³⁵ は ⁹³⁸ り ⁹⁴¹ の ⁹⁴⁴ 糸 ⁹⁴⁷
 なる ⁹⁵⁰ ま ⁹⁵³ は ⁹⁵⁶ り ⁹⁵⁹ の ⁹⁶² 糸 ⁹⁶⁵
 なる ⁹⁶⁸ ま ⁹⁷¹ は ⁹⁷⁴ り ⁹⁷⁷ の ⁹⁸⁰ 糸 ⁹⁸³
 なる ⁹⁸⁶ ま ⁹⁸⁹ は ⁹⁹² り ⁹⁹⁵ の ⁹⁹⁸ 糸 ¹⁰⁰¹

あつたてのうまき
あつたてのうまき
あつたてのうまき

あつたてのうまき
あつたてのうまき
あつたてのうまき

あつたてのうまき
あつたてのうまき
あつたてのうまき

あつたてのうまき
あつたてのうまき
あつたてのうまき

あつたてのうまき
あつたてのうまき
あつたてのうまき

あつたてのうまき
あつたてのうまき
あつたてのうまき

あつたてのうまき
あつたてのうまき
あつたてのうまき

あつたてのうまき
あつたてのうまき
あつたてのうまき

あつたてのうまき
あつたてのうまき
あつたてのうまき

あつたてのうまき
あつたてのうまき
あつたてのうまき

かゝるしむのあかした

かゝるしむのあかした

かゝるしむのあかした

かゝるしむのあかした

かゝるしむのあかした

かゝるしむのあかした

かゝるしむのあかした

かゝるしむのあかした

かゝるしむのあかした

かゝるしむのあかした

かゝるしむのあかした

かゝるしむのあかした

ひききしこののちまて

みかんとつり

しつり

やしおひえく

のちさかきや

かまきしゆん

まみりあのおれ

まもりのとこ

まもりのとこ

まもりのとこ

まもりのとこ

まもりのとこ

この本は古今一者のの

の事なるが故に甲も

流しと名づく事にして

流しと名づく事にして

流しと名づく事にして

流しと名づく事にして

流しと名づく事にして

流しと名づく事にして

流しと名づく事にして

流しと名づく事にして

流しと名づく事にして

流しと名づく事にして

たがひしきくかきかきかき

あがしきくかきかきかき

くひしきくかきかきかき

へん^年ひしきくかきかきかき

行しきくかきかきかき

おしきくかきかきかき

あしきくかきかきかき

あしきくかきかきかき

あしきくかきかきかき

あしきくかきかきかき

あしきくかきかきかき

あしきくかきかきかき
平首

あ

あ

後

まじりてふまのあはれをさかすまの

あはれをさかすまのあはれをさかすまの

たふれぬ人らたふれぬ人らたふれぬ人の

下あはれをさかすまのあはれをさかすまの

まじりたふれぬ人らたふれぬ人らたふれぬ人の

のまじりたふれぬ人らたふれぬ人らたふれぬ人の

あはれをさかすまのあはれをさかすまのあはれをさかすまの

まじりたふれぬ人らたふれぬ人らたふれぬ人の

あはれをさかすまのあはれをさかすまのあはれをさかすまの

あはれをさかすまのあはれをさかすまのあはれをさかすまの

あはれをさかすまのあはれをさかすまのあはれをさかすまの

あはれをさかすまのあはれをさかすまのあはれをさかすまの

後

後

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho) on two pages of an old book. The text is written in black ink with some red ink used for emphasis or correction. The characters are densely packed and flow across the pages. The right page shows a vertical column of text starting with a large character, possibly '心' (heart/mind), followed by several lines of smaller characters. The left page continues the text, with some characters appearing to be part of a list or a series of related terms. The paper is aged and shows signs of wear, including some staining and discoloration.

情如
く海はるもくんとすまの海すのり時

のち橋は物流へ 例と三東の吉次

のふたつとくいののどあまあし商人あ

つとく毎の敷多れ莫くあはれめしたふ

とつとくはくくへりあはれめはくはくは

らやとふかれぬ敷推ぞ 例と

しらあはれり中はあはれもたはるは

そは例のひのさしとららるるをいん

中は例としてらふはあ 例と

郊のさしとらふはあ 例と

志を 三東はあひんみあふにさる

あはれめはくはくはくはくはくはくは

無

...
...
...
...
...

情

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

無

しらくん... 漢のし... 漢のし...

おのひの... 漢のし... 漢のし...

漢のし... 漢のし... 漢のし...

漢のし... 漢のし... 漢のし...

漢のし... 漢のし... 漢のし...

漢のし... 漢のし... 漢のし...

漢のし... 漢のし... 漢のし...

漢のし... 漢のし... 漢のし...

漢のし... 漢のし... 漢のし...

漢のし... 漢のし... 漢のし...

漢のし... 漢のし... 漢のし...

漢のし... 漢のし... 漢のし...

漢のし

Handwritten Japanese text in a cursive style (sōsho) on two pages of a book. The text is organized into vertical columns. The right page contains approximately 15 columns of text, while the left page contains approximately 12 columns. The ink is dark, and the paper is aged and yellowed. There are some red markings and faint bleed-through visible on the pages. The writing is dense and fills most of the page area.

らつてんてらんよあはれし
たいてけうぞういせんと
しりたてぬしきあれもかひを
しあやうまふとふそにたか
お小男と縁ひらきしつ子御
病もしてたかぬまてあつり
痛く坊のたぬぬもかまふ
かろと病をうづりて海取
とあてりてあはれし
いれとあはれし
かろとあはれし
あはれし

最

二 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

法フツ符フのノ符フをヲ抄サウすル後ノチをメりテ枕マクうク

又マタ是コノ中ナカ宿ヤクれテ明アキラ業ノ者ノ也ナリ

行ユキ符フはハ安ヤスそシふコトよクおもはス又マタ志シをカわ

埃ホコとシてハ山ヤマよク志シにキりウク

叔ノボとシてハ葉エハはハ葉エハをシてハ

炭ツグらハりテ志シをカわラズニテハ

こノたハくシてハおもはスくコトもアリトモナリト

こノたハくシてハおもはスくコトもアリトモナリト

和ニてハおもはスくコトもアリトモナリト

やトシテハハおもはスくコトもアリトモナリト

人ヒトノノ事コトをシテハおもはスくコトもアリトモナリト

初ハジメめテ者モノとシてハおもはスくコトもアリトモナリト

舞臺

事りくひ袖は身にけくは人

そ女先女はは更志ふれ里に住も

くひかふは若よおふ秋のまら

あといそく月つ名れは魚ま

夫れ原くままたまふあま

いふはひらひらあまの

相女は更志ふれ人

相女は古くは棄れを

相女はしるは女と棄れあ

と尚女はさふかひわ我ん

ふはさるはあ女と

何月さるは縁り人

かゝるは光よあゝいさき桂れ本ののり

き社じりれ姨棄れななま

はては^{早虎}しよ^{早虎}楓^{早虎}け^{早虎}本^{早虎}れ^{早虎}け^{早虎}急

く^{早虎}捨^{早虎}し^{早虎}し^{早虎}あ^{早虎}く^{早虎}人^{早虎}れ^{早虎}あ^{早虎}さ^{早虎}れ

^有し^有ま^有く^有去^有申^有に^有埋^有ま^有も^有あ^有り^有か^有る^有毎

あ^{早虎}く^{早虎}今^{早虎}ら^{早虎}や^{早虎}若^{早虎}ら^{早虎}ら^{早虎}り^{早虎}て^{早虎}な^{早虎}り

人^{早虎}れ^{早虎}れ^{早虎}執^{早虎}心^{早虎}を^{早虎}あ^{早虎}り^{早虎}ら^{早虎}ん^{早虎}な^{早虎}り

記^{早虎}述^{早虎}も^{早虎}何^{早虎}と^{早虎}思^{早虎}ん^{早虎}物^{早虎}と^{早虎}さ^{早虎}へ^{早虎}

ま^{早虎}い^{早虎}原^{早虎}れ^{早虎}風^{早虎}に^{早虎}身^{早虎}は^{早虎}じ^{早虎}秋^{早虎}の^{早虎}心

^{青月}今^{早虎}あ^{早虎}く^{早虎}も^{早虎}か^{早虎}く^{早虎}さ^{早虎}あ^{早虎}り^{早虎}し^{早虎}は^{早虎}ら^{早虎}う^{早虎}

か^{早虎}や^{早虎}く^{早虎}と^{早虎}捨^{早虎}れ^{早虎}れ^{早虎}な^{早虎}ま^{早虎}あ^{早虎}り^{早虎}し^{早虎}松^{早虎}も

桂^{早虎}し^{早虎}ま^{早虎}し^{早虎}ゆ^{早虎}木^{早虎}れ^{早虎}み^{早虎}あ^{早虎}り^{早虎}し^{早虎}あ^{早虎}り^{早虎}く

殊替

一 梅 百廿九 今 女 今 五 今 女

一 今 女 今 女 今 女 今 女

一 今 女 今 女 今 女 今 女

一 今 女 今 女 今 女 今 女

一 今 女 今 女 今 女 今 女

一 今 女 今 女 今 女 今 女

一 今 女 今 女 今 女 今 女

一 今 女 今 女 今 女 今 女

一 今 女 今 女 今 女 今 女

一 今 女 今 女 今 女 今 女

一 今 女 今 女 今 女 今 女

一 今 女 今 女 今 女 今 女

此の古くは 景南白お
 やあつて面白くおし 上明又秋
 のまじりあつていよいよ月のか
 一ののまじりあつていよいよ秋の
 くまひかたもさかたの月の
 へこえりあつていよいよ秋の
 山秋の月あつていよいよ秋の
 しんじり思あつていよいよ秋の
 やあつていよいよ秋の
 まじりのまじりあつていよいよ秋の
 いかやあつていよいよ秋の
 まじりのまじりあつていよいよ秋の

残拾

屏風に
 何とぞ

姨母

つゝのあひなやうりあとしん松花

女 山老女 復我 着にゆ秋の丸

女 月女 安んまゐりて 羊しんま

女 花よ 神女 清のさし色

乃 東遊丸人 女 別そよて 次高

威 女 女 節 しの ば 松花

ほ 女 著 花 ば 松花

下 女 身 女 花 ば 松花

女 面 女 科 女 月 女 ありと 松花

下 女 何 女 事 女 多 女 丸 女 の 女 申 女 あり

女 心 女 女 女 女 女 女 女 女 女

女 女 女 女 女 女 女 女 女 女

一 してあり身はくゆる事今わら
 二 ともしるはれ雲のうらみ
 三 花より月をばはくあはれ
 四 やと葉のれくもあはれ
 五 清光の影くくもあはれ
 六 しかるはくもあはれ
 七 出せしものなきはくもあはれ
 八 着るはくもあはれ
 九 光あはれはくもあはれ
 一〇 光あはれはくもあはれ
 一一 光あはれはくもあはれ
 一二 光あはれはくもあはれ
 一三 光あはれはくもあはれ
 一四 光あはれはくもあはれ
 一五 光あはれはくもあはれ
 一六 光あはれはくもあはれ
 一七 光あはれはくもあはれ
 一八 光あはれはくもあはれ
 一九 光あはれはくもあはれ
 二〇 光あはれはくもあはれ
 二一 光あはれはくもあはれ
 二二 光あはれはくもあはれ
 二三 光あはれはくもあはれ
 二四 光あはれはくもあはれ
 二五 光あはれはくもあはれ
 二六 光あはれはくもあはれ
 二七 光あはれはくもあはれ
 二八 光あはれはくもあはれ
 二九 光あはれはくもあはれ
 三〇 光あはれはくもあはれ
 三一 光あはれはくもあはれ
 三二 光あはれはくもあはれ
 三三 光あはれはくもあはれ
 三四 光あはれはくもあはれ
 三五 光あはれはくもあはれ
 三六 光あはれはくもあはれ
 三七 光あはれはくもあはれ
 三八 光あはれはくもあはれ
 三九 光あはれはくもあはれ
 四〇 光あはれはくもあはれ
 四一 光あはれはくもあはれ
 四二 光あはれはくもあはれ
 四三 光あはれはくもあはれ
 四四 光あはれはくもあはれ
 四五 光あはれはくもあはれ
 四六 光あはれはくもあはれ
 四七 光あはれはくもあはれ
 四八 光あはれはくもあはれ
 四九 光あはれはくもあはれ
 五〇 光あはれはくもあはれ
 五一 光あはれはくもあはれ
 五二 光あはれはくもあはれ
 五三 光あはれはくもあはれ
 五四 光あはれはくもあはれ
 五五 光あはれはくもあはれ
 五六 光あはれはくもあはれ
 五七 光あはれはくもあはれ
 五八 光あはれはくもあはれ
 五九 光あはれはくもあはれ
 六〇 光あはれはくもあはれ
 六一 光あはれはくもあはれ
 六二 光あはれはくもあはれ
 六三 光あはれはくもあはれ
 六四 光あはれはくもあはれ
 六五 光あはれはくもあはれ
 六六 光あはれはくもあはれ
 六七 光あはれはくもあはれ
 六八 光あはれはくもあはれ
 六九 光あはれはくもあはれ
 七〇 光あはれはくもあはれ
 七一 光あはれはくもあはれ
 七二 光あはれはくもあはれ
 七三 光あはれはくもあはれ
 七四 光あはれはくもあはれ
 七五 光あはれはくもあはれ
 七六 光あはれはくもあはれ
 七七 光あはれはくもあはれ
 七八 光あはれはくもあはれ
 七九 光あはれはくもあはれ
 八〇 光あはれはくもあはれ
 八一 光あはれはくもあはれ
 八二 光あはれはくもあはれ
 八三 光あはれはくもあはれ
 八四 光あはれはくもあはれ
 八五 光あはれはくもあはれ
 八六 光あはれはくもあはれ
 八七 光あはれはくもあはれ
 八八 光あはれはくもあはれ
 八九 光あはれはくもあはれ
 九〇 光あはれはくもあはれ
 九一 光あはれはくもあはれ
 九二 光あはれはくもあはれ
 九三 光あはれはくもあはれ
 九四 光あはれはくもあはれ
 九五 光あはれはくもあはれ
 九六 光あはれはくもあはれ
 九七 光あはれはくもあはれ
 九八 光あはれはくもあはれ
 九九 光あはれはくもあはれ
 一〇〇 光あはれはくもあはれ

抄

上^ニカ^ニと^ニう^ニ故^ニふ^ニ大^ニせ^ニり^ニと^ニ歩^ニん^ニた^ニ
 と^ニう^ニ疾^ニ冠^ニつ^ニる^ニに^ニた^ニの^ニ美^ニさ^ニの^ニや^ニま^ニ
 此^ニ者^ニの^ニね^ニよ^ニ此^ニ方^ニれ^ニ津^ニ大^ニと^ニ取^ニり^ニん^ニた^ニ
^下ま^ニも^ニ遠^ニる^ニの^ニ風^ニれ^ニ香^ニら^ニく^ニれ^ニま^ニく^ニ
 ま^ニり^ニく^ニよ^ニふ^ニん^ニら^ニり^ニ方^ニを^ニあ^ニり^ニづ^ニら^ニ
 是^ニこ^ニの^ニ味^ニす^ニし^ニの^ニ養^ニ也^ニの^ニ香^ニら^ニす^ニ
 や^ニあ^ニま^ニ本^ニれ^ニ花^ニら^ニり^ニん^ニん^ニさ^ニき^ニ
 是^ニの^ニ乱^ニま^ニさ^ニら^ニり^ニ美^ニの^ニ世^ニり^ニひ^ニん^ニの^ニさ^ニ
 ひ^ニか^ニも^ニさ^ニあ^ニり^ニと^ニら^ニく^ニは^ニな^ニる^ニに^ニく^ニま^ニ
 や^ニく^ニわ^ニあ^ニひ^ニれ^ニ付^ニし^ニく^ニあ^ニる^ニの^ニあ^ニ
 一^ニつ^ニ光^ニあ^ニし^ニつ^ニま^ニさ^ニし^ニあ^ニか^ニら^ニり^ニ
 ぬ^ニく^ニゆ^ニも^ニか^ニた^ニし^ニひ^ニつ^ニん^ニ光^ニを^ニら^ニり^ニ付^ニ

娘橋

あつたあんなの秋の夜もさびし
くもさびしき流しゆくもさびし
くもさびしき我の心もさびし
くもさびしき美秋の心もさびし
くもさびしき今もさびしき
くもさびしき又秋の夜もさびし
くもさびしき

舟船 曲出本拍子
位開 三三三

あつたあんなの秋の夜もさびし
くもさびしき流しゆくもさびし
くもさびしき我の心もさびし
くもさびしき美秋の心もさびし
くもさびしき今もさびしき
くもさびしき又秋の夜もさびし
くもさびしき

めとれくひそねし色船とま
あゆみそとていそとてひそそとて
くそそとてめとれくひそとて
十二回にからひそとてひそとて
あゆみおくるひそとてひそとて
付おくりひそとてひそとて

やとねい
りらねかたね若林下
二二のねよそん
中乃ちああり梅も我らと友人
六二也回女乃そく人
三のふきそはひそとてひそとて

Handwritten text in red ink at the top of the right page, likely a title or header.

唐如

Main body of handwritten Japanese text in black ink, written in a vertical column from right to left. The text is densely packed and includes various characters and symbols.

唐如

Additional handwritten text on the left page, continuing the vertical writing style.

まはるにふ。救乃。美。う。り。ま。て

海はくし。あ。ふ。さ。成。し。く。し。は。い。ま。い

ら。く。ふ。甲。らん。あ。そ。ひ。い。友。今。来

あ。生。し。く。の。具。今。ふ。の。ま。り。ま。く

い。し。ひ。あ。り。く。そ。し。は。よ。に。待。ら。し。は。い

ら。く。合。し。く。し。あ。り。し。て。あ

し。く。し。く。の。ま。り。ま。い。ふ。わ。き。い。ぬ

し。ん。を。た。お。う。ひ。の。平。と。あ。り。あ。り

い。や。く。あ。ら。は。あ。あ。い。の。あ

し。く。し。く。の。ま。り。ま。い。の。ま。り。ま。い

の。原。七。た。た。な。あ。そ。ひ。あ。ね。あ。ね

あ。の。牛。ひ。く。の。あ。そ。ひ。あ。ね。あ。ね

懐
唐

秋さく花乃聖うひ社三入のん乃あ

さあがコトヒは五し五り五ち五め五列五の五ほ五み

そまの友人と五し五ま五か五ら五の五我五し五し五

さる五河五本五小五渡五も五牛五も五と五わ五り五

ひ五あ五ら五あ五え五れ五ま五ま五し五ら五し五ら五名五

よ五う五い五ま五し五て五あ五れ五ま五ま五あ五り五ひ五

の五う五し五て五あ五れ五ま五ま五あ五り五ひ五

の五う五し五て五あ五れ五ま五ま五あ五り五ひ五

の五う五し五て五あ五れ五ま五ま五あ五り五ひ五

の五う五し五て五あ五れ五ま五ま五あ五り五ひ五

の五う五し五て五あ五れ五ま五ま五あ五り五ひ五

の五う五し五て五あ五れ五ま五ま五あ五り五ひ五

の五う五し五て五あ五れ五ま五ま五あ五り五ひ五

の五う五し五て五あ五れ五ま五ま五あ五り五ひ五

の五う五し五て五あ五れ五ま五ま五あ五り五ひ五

唐

五

有妙

上喜人
わきよはたは牛

のふくぶく子ゆきあかん

はんやらんよんくもあかん

あしきとらあしきあかん

よゆんく
あかん

根直あかん

物鏡
あかん

あはる
あかん

あかん
あかん

あかん
あかん

あかん
あかん

あかん
あかん

ついでに御書
御書
御書

御書
御書

御書
御書

御書
御書

御書
御書

御書
御書

御書
御書

御書
御書

御書
御書

御書
御書

御書
御書

御書
御書

平 十一 八三
平 十一 八三
平 十一 八三

平 十一 八三
平 十一 八三
平 十一 八三

平 十一 八三
平 十一 八三
平 十一 八三

平 十一 八三
平 十一 八三
平 十一 八三

平 十一 八三
平 十一 八三
平 十一 八三

平 十一 八三
平 十一 八三
平 十一 八三

平 十一 八三
平 十一 八三
平 十一 八三

平 十一 八三
平 十一 八三
平 十一 八三

平 十一 八三
平 十一 八三
平 十一 八三

平 十一 八三
平 十一 八三
平 十一 八三

魚のさきよりいせむと申す大

れいひよていすむと申す

このころの対面と申す

対面いけり

何のきり

急いで對面し

しるのねいひいせむと申す

くひいせむと申す

いせむと申す

引いせむと申す

引いせむと申す

引いせむと申す

引いせむと申す

引いせむと申す

引いせむと申す

御書

と云ふ事は、
御書に記され
たり。其の由
は、御書に記
されたり。其
の由は、御書
に記されたり。
其の由は、御
書に記されたり。

御書に記され
たり。其の由
は、御書に記
されたり。其
の由は、御書
に記されたり。

御書に記され
たり。其の由
は、御書に記
されたり。其
の由は、御書
に記されたり。

御書に記され
たり。其の由
は、御書に記
されたり。其
の由は、御書
に記されたり。

御書に記され
たり。其の由
は、御書に記
されたり。其
の由は、御書
に記されたり。

御書に記され
たり。其の由
は、御書に記
されたり。其
の由は、御書
に記されたり。

御書に記され
たり。其の由
は、御書に記
されたり。其
の由は、御書
に記されたり。

御書に記され
たり。其の由
は、御書に記
されたり。其
の由は、御書
に記されたり。

御書に記され
たり。其の由
は、御書に記
されたり。其
の由は、御書
に記されたり。

御書に記され
たり。其の由
は、御書に記
されたり。其
の由は、御書
に記されたり。

御書に記され
たり。其の由
は、御書に記
されたり。其
の由は、御書
に記されたり。

月舟

あつらひのすゝめ

く ^景 慈情のゆゑ

く ^景 花のよも

く ^景 花のよも

く ^景 花のよも

く ^景 花のよも

く ^景 花のよも

く ^景 花のよも

く ^景 花のよも

く ^景 花のよも

く ^景 花のよも

く ^景 花のよも

く ^景 花のよも

十

一、心もほろびて、これはいふにふくまはれ、
 二、物もあはれ、しとや我も、
 三、しとぬむろ、身ろ子、
 四、今、物中、しと、
 五、身ろく、よ、
 六、心もあはれ、
 七、身ろく、よ、
 八、心もあはれ、

一、身ろく、よ、
 二、心もあはれ、
 三、身ろく、よ、
 四、心もあはれ、
 五、身ろく、よ、
 六、心もあはれ、
 七、身ろく、よ、
 八、心もあはれ、

御書

あつたてのうへへ海軍のまへへ
御書

あつたてのうへへ海軍のまへへ

あつたてのうへへ海軍のまへへ

あつたてのうへへ海軍のまへへ

あつたてのうへへ海軍のまへへ

あつたてのうへへ海軍のまへへ

あつたてのうへへ海軍のまへへ

あつたてのうへへ海軍のまへへ

あつたてのうへへ海軍のまへへ

あつたてのうへへ海軍のまへへ

あつたてのうへへ海軍のまへへ

あつたてのうへへ海軍のまへへ

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

為知馬 曲出二拍子陰合者八陰在馬
 位剛打切ヨ一左程

禿
 見ハ法必一見乃禿トハ我
 今さみらのくそ品のしゆと
 といはいにびさひおひら
 そこのしゆ一月とんさ
 一そくくハ箱よあハ人

おららららら世の今も時をい

中一

二九二ト

うおのしんていあまの神と

上詩

うきとらるるふかきみそ

うきあひなしくらきり

二九二

そらあやの書やららるる

のころあまのまはるる

まらあくらあはるる

くくあまのまはるる

二九二

上詩

かあにらるるあまの

あまのあまのあまの

あまのあまのあまの

あまのあまのあまの

あまのあまのあまの

新

かゝるに...
早初

いふに...
早初

いふに...
早

いふに...
早

いふに...
早

いふに...
早

いふに...
早

いふに...
早

いふに...
早

いふに...
早

いふに...
早

巻之四

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
840
841
842
843
844
845
846
847
848
849
850
851
852
853
854
855
856
857
858
859
860
861
862
863
864
865
866
867
868
869
870
871
872
873
874
875
876
877
878
879
880
881
882
883
884
885
886
887
888
889
890
891
892
893
894
895
896
897
898
899
900
901
902
903
904
905
906
907
908
909
910
911
912
913
914
915
916
917
918
919
920
921
922
923
924
925
926
927
928
929
930
931
932
933
934
935
936
937
938
939
940
941
942
943
944
945
946
947
948
949
950
951
952
953
954
955
956
957
958
959
960
961
962
963
964
965
966
967
968
969
970
971
972
973
974
975
976
977
978
979
980
981
982
983
984
985
986
987
988
989
990
991
992
993
994
995
996
997
998
999
1000

五ノ

1

天徳寺

奥にうらむらひのまゝ
 ありてはあらはれぬ
 人の心はうらむらひのまゝ
 ありてはあらはれぬ
 のくろくはうらむらひのまゝ
 ありてはあらはれぬ
 えいまはうらむらひのまゝ
 ありてはあらはれぬ

あはれなる御心
かたじけなくも
おぼつかたき御
まはらむ御心
あはれなる御心
かたじけなくも
おぼつかたき御
まはらむ御心
あはれなる御心
かたじけなくも
おぼつかたき御
まはらむ御心

あはれなる御心
かたじけなくも
おぼつかたき御
まはらむ御心
あはれなる御心
かたじけなくも
おぼつかたき御
まはらむ御心
あはれなる御心
かたじけなくも
おぼつかたき御
まはらむ御心

巻之七

海に舟を乗せしむるは

舟に乗りて海を渡るは

舟に乗りて海を渡るは

舟に乗りて海を渡るは

舟に乗りて海を渡るは

舟に乗りて海を渡るは

舟に乗りて海を渡るは

舟に乗りて海を渡るは

舟に乗りて海を渡るは

舟に乗りて海を渡るは

舟に乗りて海を渡るは

舟に乗りて海を渡るは

舟に乗りて海を渡るは

あつちのきんぎょを
しんがらぬとて
あつちのきんぎょを
しんがらぬとて
あつちのきんぎょを
しんがらぬとて
あつちのきんぎょを
しんがらぬとて
あつちのきんぎょを
しんがらぬとて
あつちのきんぎょを
しんがらぬとて

あつちのきんぎょを
しんがらぬとて
あつちのきんぎょを
しんがらぬとて
あつちのきんぎょを
しんがらぬとて
あつちのきんぎょを
しんがらぬとて
あつちのきんぎょを
しんがらぬとて
あつちのきんぎょを
しんがらぬとて
あつちのきんぎょを
しんがらぬとて
あつちのきんぎょを
しんがらぬとて

善知

律司

